

アイカ工業株式会社

2022年3月期 決算説明会



2022年 5月19日
証券コード：4206



1. 2022年3月期 実績概況

2. 2022年3月期 セグメント別実績

3. 2023年3月期 計画概況

4. 2023年3月期 セグメント別計画

5. 配当について

参考資料) 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

1-1. 連結決算の概要

[百万円]

	2021/3期		2022/3期				
	実績	利益率	計画	実績	利益率	伸率	達成率
売上高	174,628	-	200,000	214,514	-	22.8%	107.3%
営業利益	17,991	10.3%	21,000	20,348	9.5%	13.1%	96.9%
経常利益	18,438	10.6%	21,400	21,840	10.2%	18.5%	102.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	10,759	6.2%	13,000	13,117	6.1%	21.9%	100.9%

[一株当たり単位：円]

R O E	8.1%	-	9.4%	9.4%	-	-	100.0%
一株当たり純利益	164.79	-	199.10	200.90	-	-	100.9%
一株当たり株主資本	2,064.24	-	2,155.00	2,223.98	-	-	103.2%

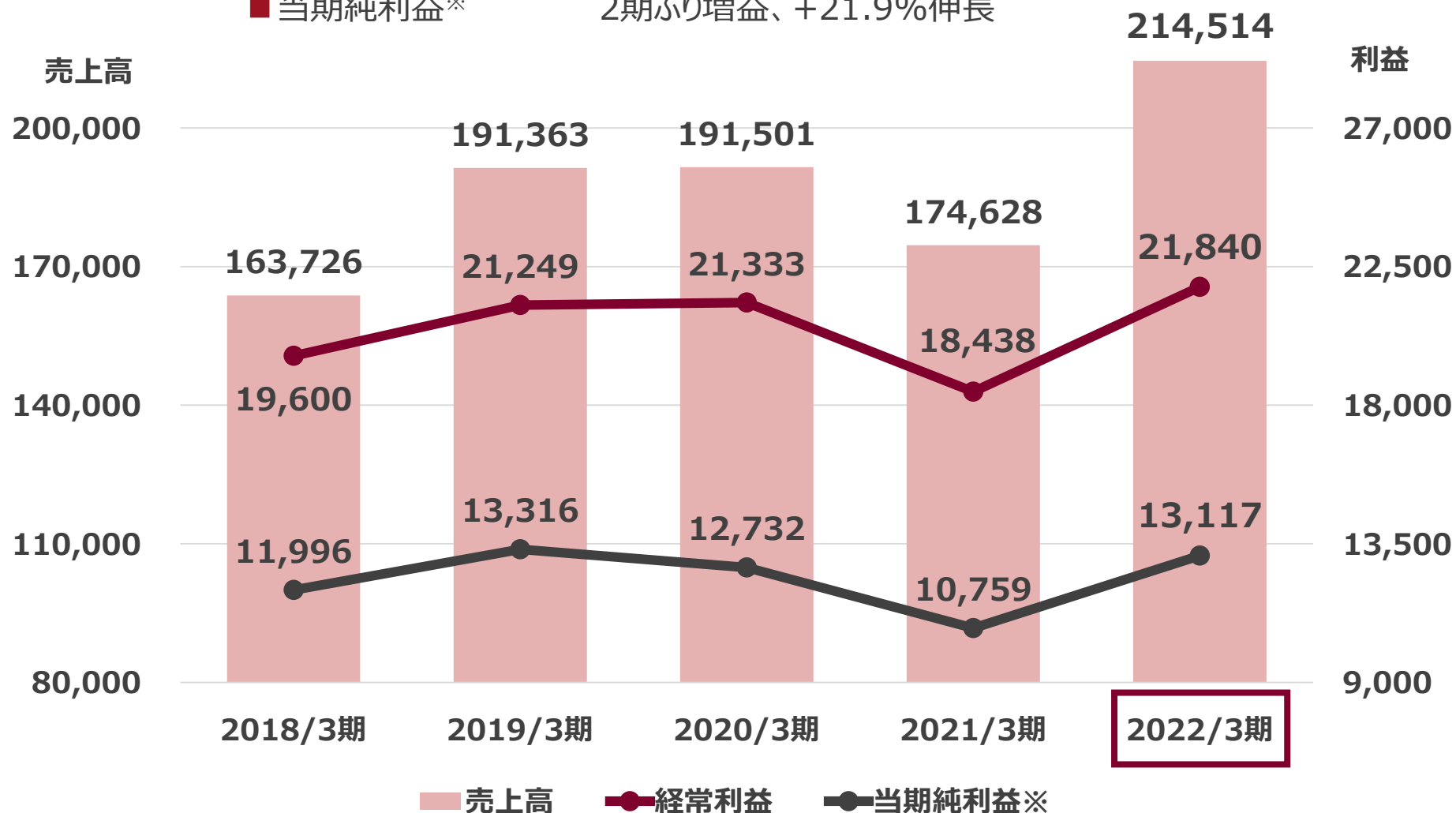
- 連結業績：売上高・経常利益は過去最高を更新、営業利益・当期純利益は大幅に増益
- 国内事業：建設市場（住宅・非住宅）の回復を背景に、化成品・建装建材ともに伸長
- 海外事業：AAP社が好調、アイカアドテック社の新規連結も寄与
アジアを中心とした化粧板販売増加により売上増

※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

1-2. 連結決算の推移

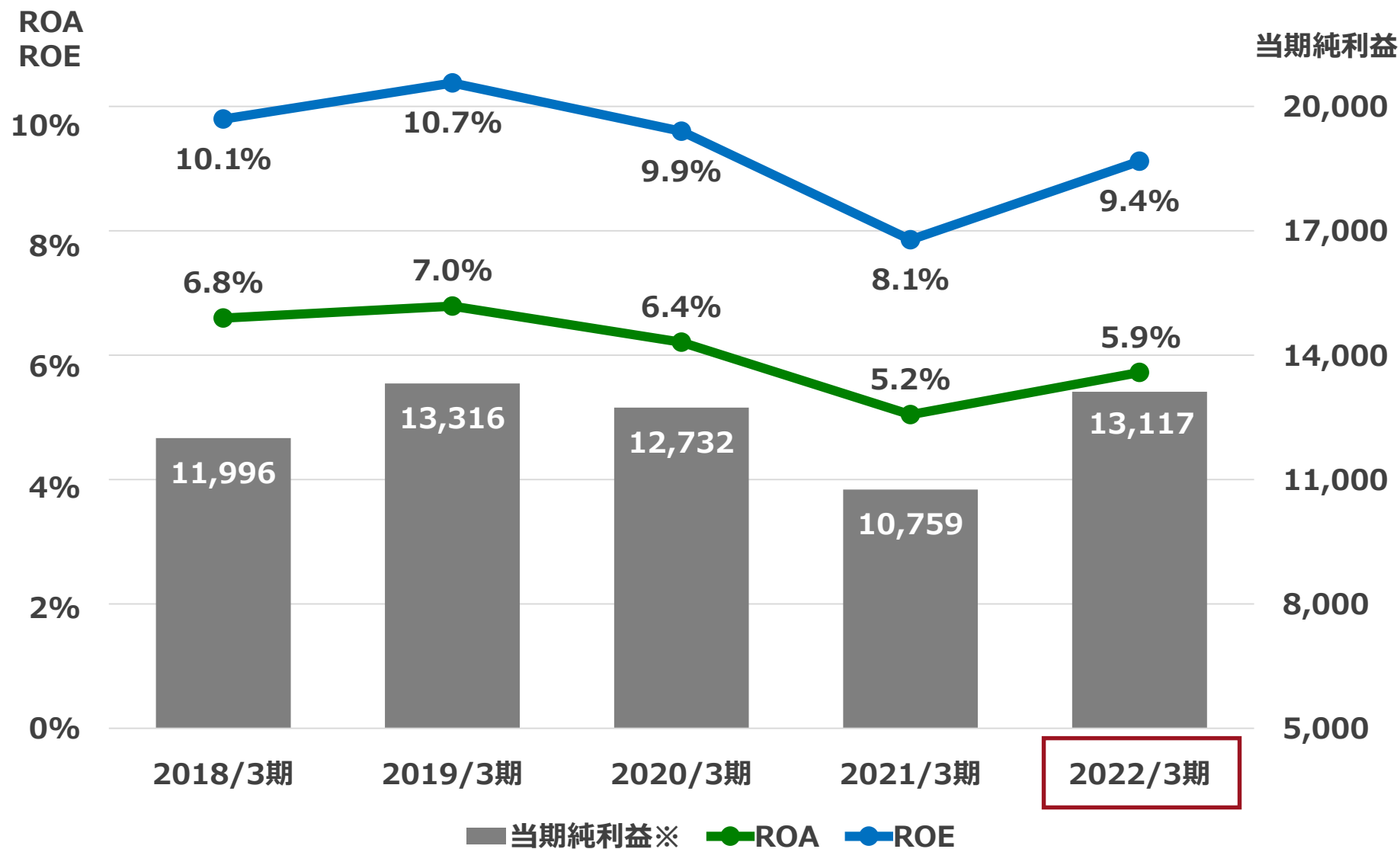
[百万円]

- 売上高
 - 経常利益
 - 当期純利益※
- 2期ぶり増収、過去最高を更新
2期ぶり増益、過去最高を更新
2期ぶり増益、+21.9%伸長



※親会社株主に帰属する当期純利益

[百万円]



※親会社株主に帰属する当期純利益

1-4. 主要項目の状況

	2020/3期 連結	2021/3期 連結	2022/3期 連結
研究開発費	34.5億円	33.2億円	34.5億円
減価償却費	46.3億円	56.8億円	64.1億円
設備投資額	71.3億円	61.1億円	71.1億円
借入金残高	71.9億円	75.0億円	170.5億円
期末人員	4,781人	4,796人	4,949人
（国内）	1,625人	1,607人	1,579人
（海外）	3,156人	3,189人	3,370人

1-5. セグメント別業績

	売上高			営業利益			
	2021/3期 実績	2022/3期 計画	2022/3期 実績	2021/3期 実績	2022/3期 計画	2022/3期 実績	
化成品	90,446	110,000	122,323	7,109	7,800	7,376	金額
				7.9%	7.1%	6.0%	利益率
建装建材	84,182	90,000	92,191	13,751	16,800	16,379	金額
				16.3%	18.7%	17.8%	利益率
			(配布不能営業費用)	▲2,869	▲3,600	▲3,407	金額
合計	174,628	200,000	214,514	17,991	21,000	20,348	金額
				10.3%	10.5%	9.5%	利益率

1-6. セグメント別海外売上高

	2021/3期 実績		2022/3期 実績		
	売上高	海外売上比率	売上高	伸率	海外売上比率
化成品	606.0億円	67.0%	884.6億円	46.0%	72.3%
建装建材	139.4億円	16.6%	171.6億円	23.1%	18.6%
合計	745.4億円	42.7%	1,056.3億円	41.7%	49.2%

目次

1. 2022年3月期 実績概況

2. 2022年3月期 セグメント別実績

3. 2023年3月期 計画概況

4. 2023年3月期 セグメント別計画

5. 配当について

参考資料) 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

2-1. 化成品セグメント 商品群別売上実績

	2021/3期	2022/3期			
	実績	計画	実績	達成率	伸率
接着剤	543.2	698.9	785.6	112.4%	44.6%
(うちAAP社)	(420.2)	(560.4)	(643.2)	(114.8%)	(53.1%)
建設樹脂	86.3	92.6	92.2	99.6%	6.8%
機能材料	168.1	207.7	217.0	104.5%	29.1%
その他	106.7	100.6	128.3	127.5%	20.2%
合計	904.4	1,100.0	1,223.2	111.2%	35.2%

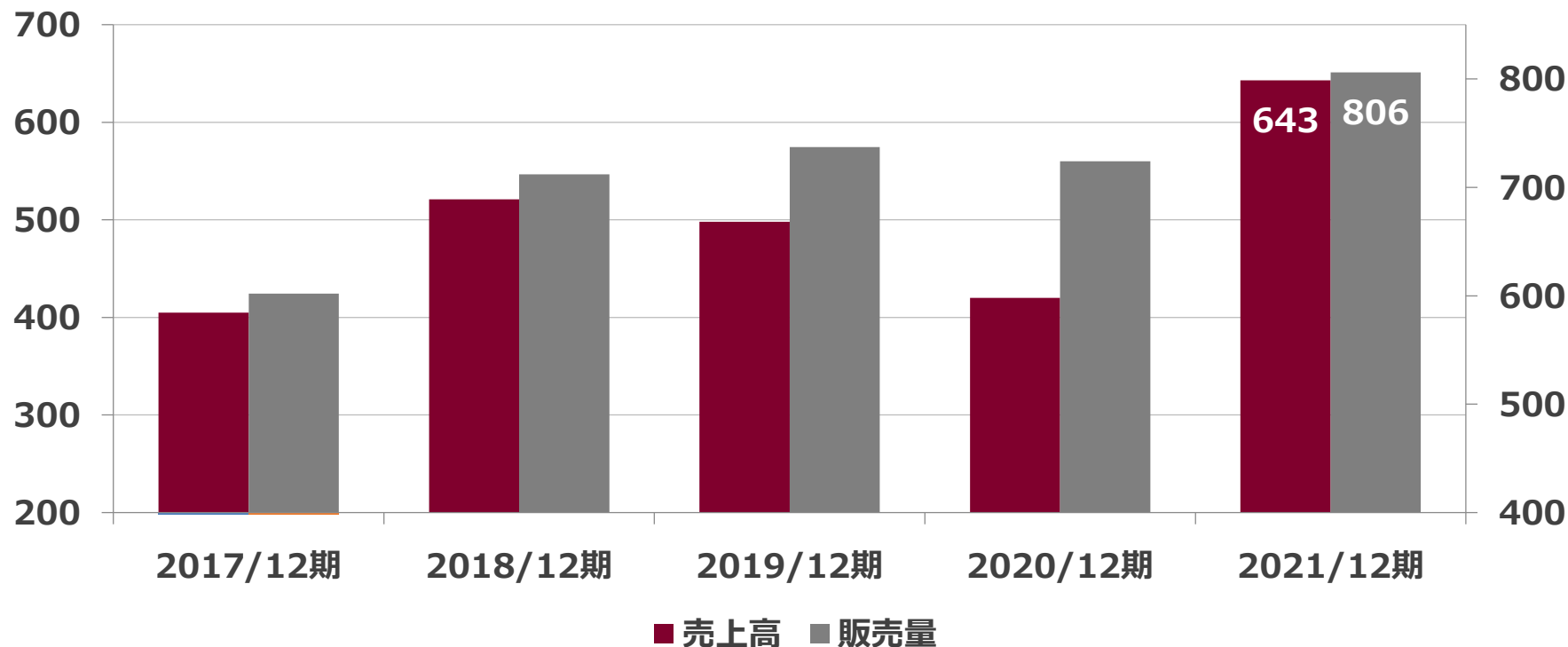
※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

2-2. 化成品セグメント 売上実績 (AAP社)

価格転嫁、中国伸長、新規連結効果により増収

売上[億円]

販売量[千トン]



AAP社：売上+53% 販売量+11%

中国・タイ・インドネシア・ベトナムなどで大幅に伸長
第2四半期より新規連結したアイカアドテック社（マレーシア）も寄与

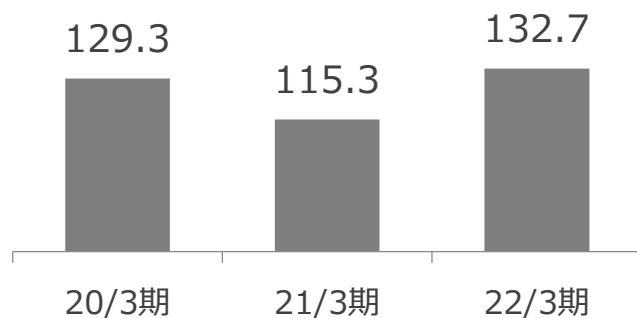
※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

2-3. 化成品セグメント 売上実績 (AAP社以外)

[億円]

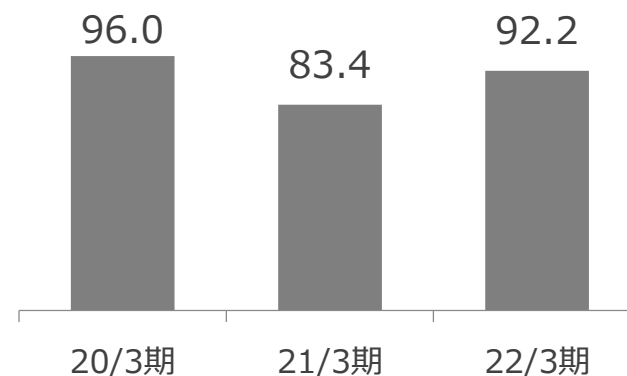
接着剤 (国内)

各種接着剤・フェノール樹脂など



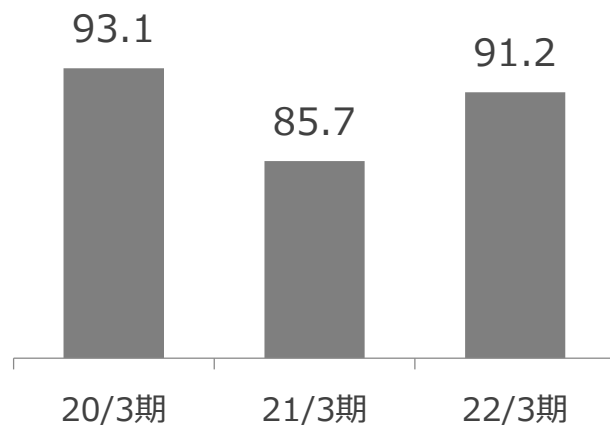
機能材料 (国内)

ホットメルト・機能性アクリル・UV樹脂・有機微粒子など



建設樹脂 (国内)

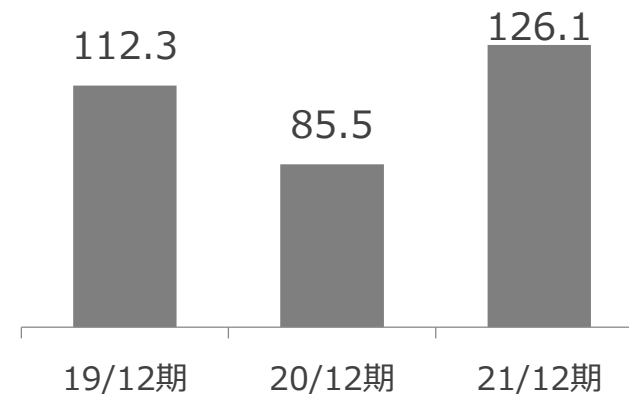
塗り壁材・塗り床材・補修補強材



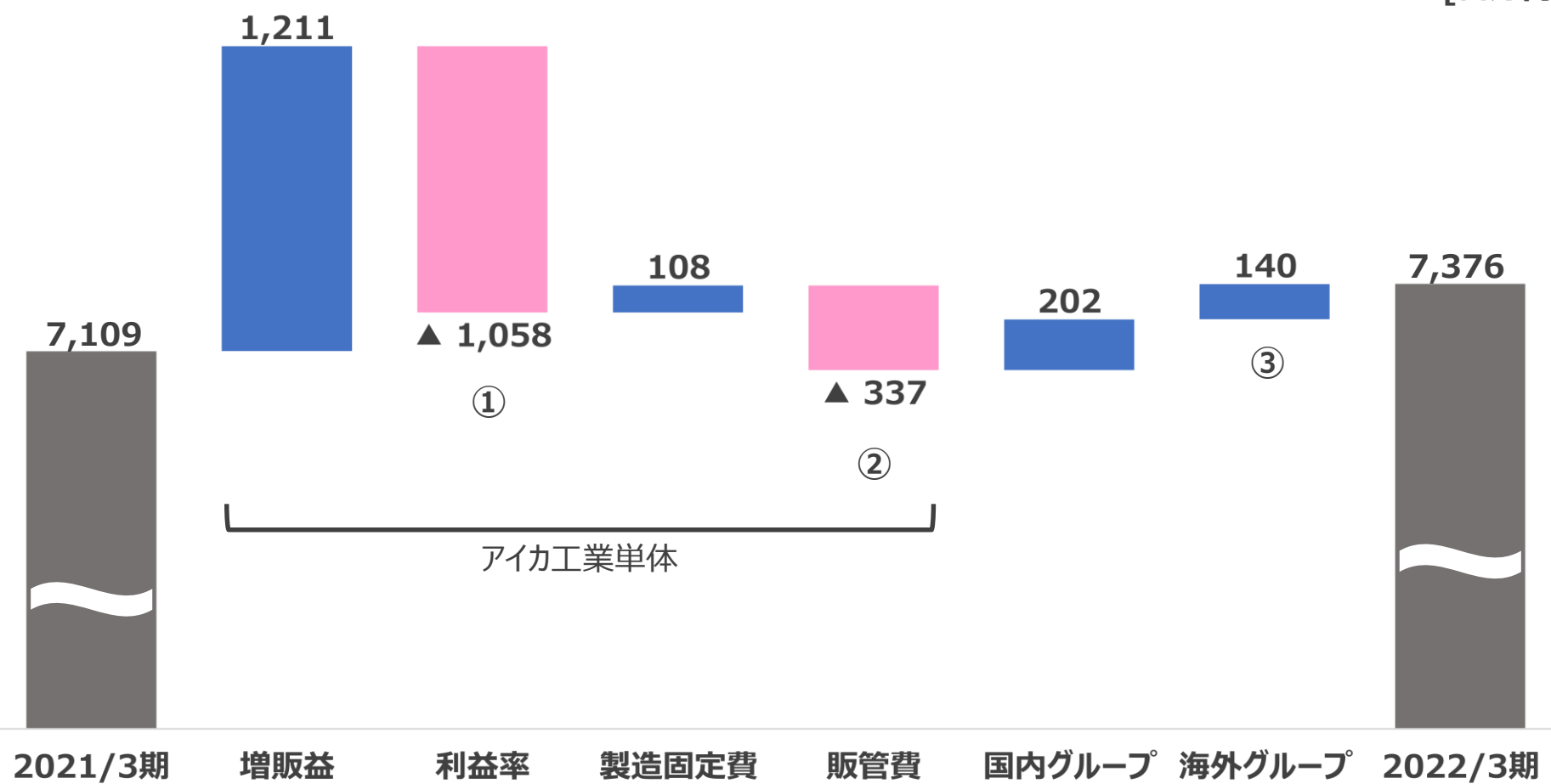
EMC社 (海外)

ウレタン樹脂など・コベストロレジ社からの大園工場の譲受

※EMC社：エバモア・ケミカル・インダストリー社



2-4. 化成品セグメント 営業利益実績



① 利益率
 原材料影響 ▲1,605
 価格転嫁 +447

② 販管費
 物流費増加 ▲142
 研究開発費増加 ▲141

③ 海外グループ
 AAP社 +536
 EMC社 ▲396

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

※EMC社：エバモア・ケミカル・インダストリー社

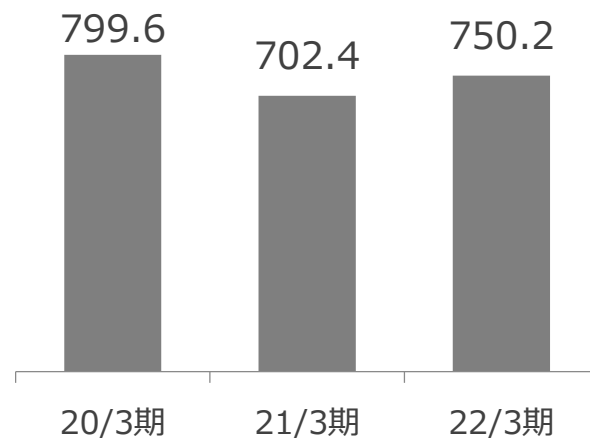
2-5. 建装建材セグメント 商品群別売上実績

	2021/3期	2022/3期			
	実績	計画	実績	達成率	伸率
メラミン化粧板	242.2	280.4	289.3	103.2%	19.4%
ボード フィルム等	111.9	117.5	114.5	97.4%	2.3%
セラー	191.9	204.0	209.1	102.5%	9.0%
不燃建材	82.3	84.4	79.0	93.6%	▲4.0%
カウンター ポストフォーム	164.7	174.2	182.1	104.5%	10.6%
建具 インテリア建材	48.6	39.3	47.5	120.9%	▲2.3%
合計	841.8	900.0	921.9	102.4%	9.5%

2-6. 建装建材セグメント 売上実績 (国内)

住宅は回復、非住宅は上半期に落ち込むも下半期に回復

国内売上の推移[億円]



■ 2022年3月期 国内建設市場の市場環境

【期初予想】 住宅：▲1.2%、非住宅：▲5.4%

【通期実績】 住宅：+5.2%、非住宅：▲1.0%

※当社需要期へタイムラグ調整済み



■ 2022年3月期 好調商品

高級人造石 **フィオレストーン**



クチーナ大阪ショールーム
設計/クチーナ大阪、(株)モーリショップ

抗ウイルス建材 **ウイルテクト**



道の駅 おおがた

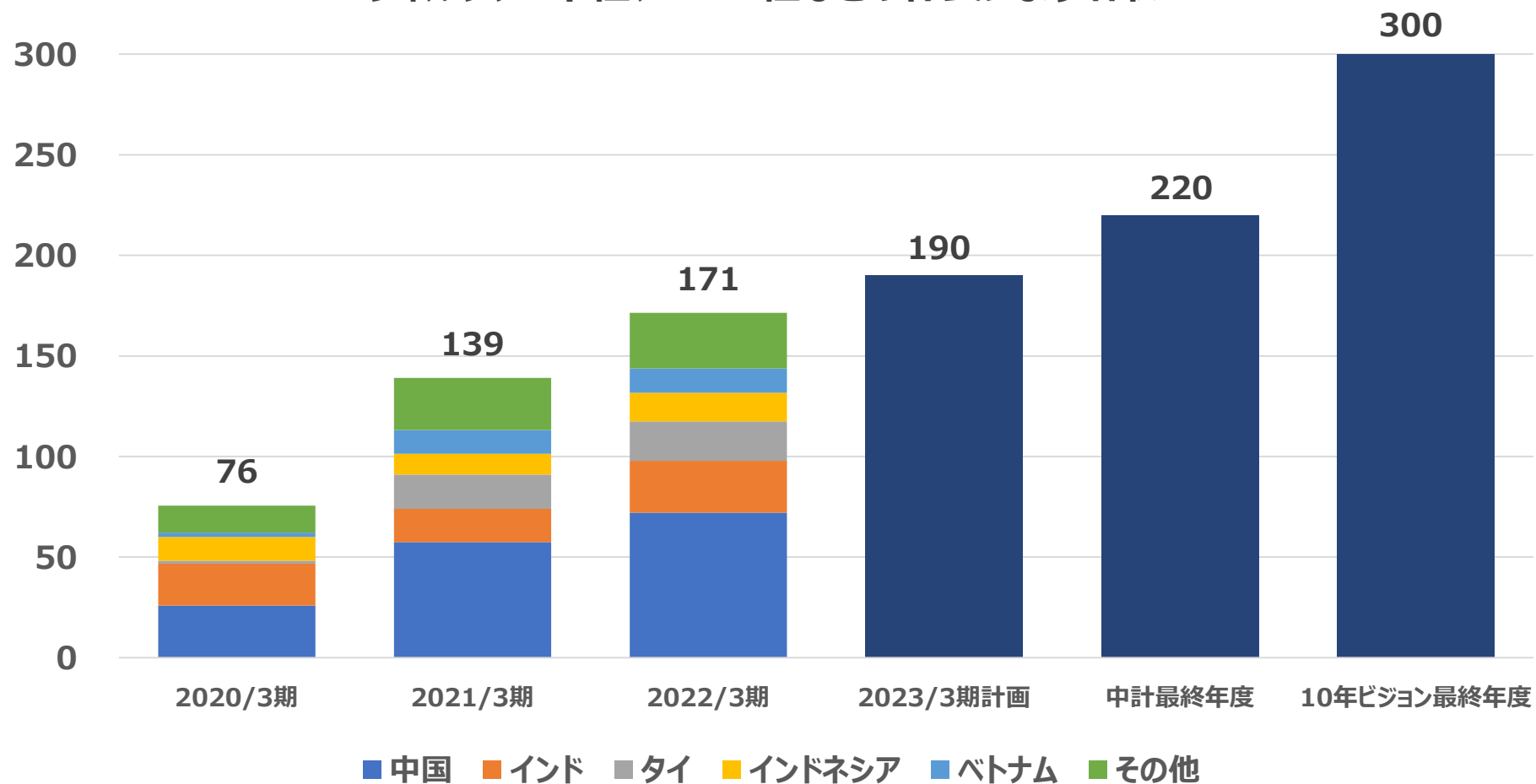
洗面化粧台 **スマートサニタリー**



2-7. 建装建材セグメント 売上実績（海外）

[億円]

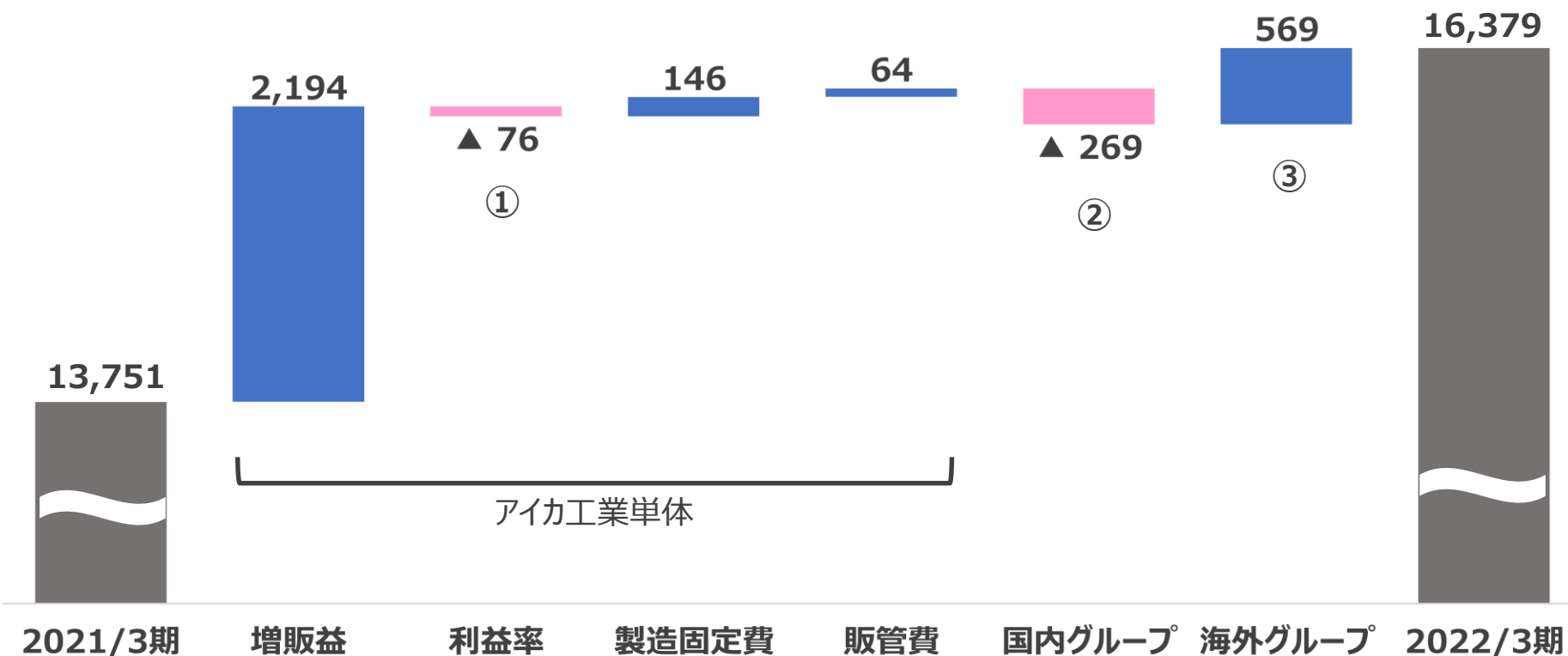
ウィルソナート社、ALIP社などの伸長により増収



中国・インド・タイ・インドネシア・ベトナムなどで伸長

※ALIP社：アイカ・ラミネーツ・インディア社

2-8. 建装建材セグメント 営業利益実績



① 利益率

原材料影響	▲441
輸入コスト	▲319
価格転嫁	+553

② 国内グループ

アイカハリマ工業	▲135
アイカインテリア工業	▲81

③ 海外グループ

ウィルソナート社	+348
ALV社	+210

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※ALV社：アイカ・ラミネーツ・ベトナム社

1. 2022年3月期 実績概況

2. 2022年3月期 セグメント別実績

3. 2023年3月期 計画概況

4. 2023年3月期 セグメント別計画

5. 配当について

参考資料) 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

3-1. 2023年3月期 経営環境予測

国内建設市場

※当社需要期へタイムラグ調整済み

2022年3月期 (実績)	住宅 : + 5.2%	非住宅 : ▲ 1.0%
2023年3月期 (予測)	住宅 : ▲ 2.4%	非住宅 : + 8.4%

海外市場

ロシア・ウクライナ情勢、中国ロックダウン、原油高騰など先行き不透明

為替換算レート

※各国通貨建てのため、ドル建ての子会社は数社のみ

2022年3月期 (実績)	1USD = 109.84円
2023年3月期 (想定)	1USD = 120.00円

国産ナフサ価格

※すべての原材料がナフサに連動するわけではない

2021年3月期 (実績)	33,000円/kl
2022年3月期 (実績)	50,000円/kl
2023年3月期 (想定)	81,000円/kl

3-2. 2023年3月期 通期計画

[百万円]

	2022/3期 実績		2023/3期 計画			対前期
	金額	利益率	金額	利益率	伸率	増減額
売上高	214,514	—	225,000	—	4.9%	10,485
営業利益	20,348	9.5%	21,500	9.6%	5.7%	1,151
経常利益	21,840	10.2%	22,000	9.8%	0.7%	159
当期純利益※	13,117	6.1%	13,300	5.9%	1.4%	182
ROE	9.4%	—	9%以上	—	—	—
ROA	5.9%	—	5.4%	—	—	—
一株当たり純利益	200.90円	—	207.95円	—	—	—
一株当たり株主資本	2,223.98円	—	2,300.00円	—	—	—
研究開発費	34.5億円	—	37.0億円	—	—	—
減価償却費	64.1億円	—	70.0億円	—	—	—
設備投資額	71.1億円	—	100.0億円	—	—	—

※親会社株主に帰属する当期純利益

3-3. 2023年3月期 通期セグメント別計画

	売上高			営業利益			
	2022/3期 実績	2023/3期 計画	差異	2022/3期 実績	2023/3期 計画	差異	
化成品	122,323	129,000	6,676	7,376	8,000	623	金額
				6.0%	6.2%	0.2%	利益率
建装建材	92,191	96,000	3,808	16,379	17,100	720	金額
				17.8%	17.8%	—	利益率
			(配布不能営業費用)	▲3,407	▲3,600	▲192	金額
合計	214,514	225,000	10,485	20,348	21,500	1,151	金額
				9.5%	9.6%	0.1%	利益率

3-4. 2023年3月期 上半期セグメント別計画

	売上高			営業利益			
	2022/3期 上半期実績	2023/3期 上半期計画	差異	2022/3期 上半期実績	2023/3期 上半期計画	差異	
化成品	56,306	61,500	5,193	3,869	3,600	▲270	金額
				6.9%	5.9%	▲1.0%	利益率
建装建材	42,344	43,500	1,155	7,170	7,600	429	金額
				16.9%	17.5%	0.6%	利益率
				▲1,612	▲1,700	▲87	金額
				(配布不能営業費用)			
合計	98,650	105,000	6,349	9,426	9,500	73	金額
				9.6%	9.0%	▲0.6%	利益率

目次

1. 2022年3月期 実績概況

2. 2022年3月期 セグメント別実績

3. 2023年3月期 計画概況

4. 2023年3月期 セグメント別計画

5. 配当について

参考資料) 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

4-1. 化成品セグメント 商品群別売上計画

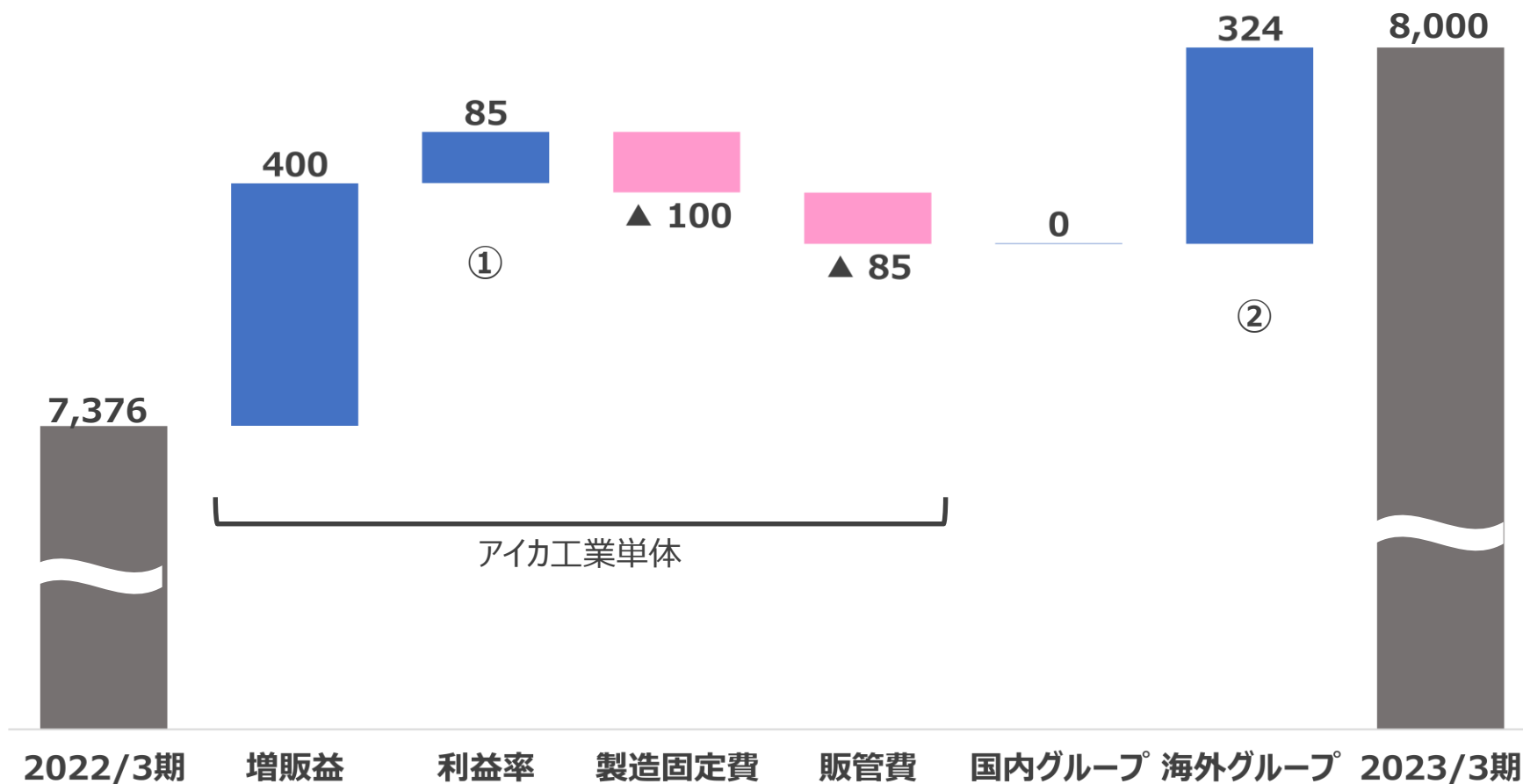
[億円]

	2022/3期 (実績)		2023/3期 (計画)			
	上半期	通期	上半期	伸率	通期	伸率
接着剤	354.3	785.6	401.0	13.2%	850.0	8.2%
(うちAAP社)	(286.3)	(643.2)	(330.0)	(15.2%)	(700.0)	(8.8%)
建設樹脂	44.3	92.2	45.8	3.2%	95.0	3.0%
機能材料	105.2	217.0	109.0	3.5%	230.0	6.0%
その他	59.1	128.3	59.2	0.2%	115.0	▲10.4%
合計	563.0	1,223.2	615.0	9.2%	1,290.0	5.5%

※AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

4-2. 化成品セグメント 営業利益計画

[百万円]



① 利益率
 原材料影響 ▲1,000
 価格転嫁 + 910

② 海外G
 AAP社 + 150

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※ AAP社：アイカ・アジア・パシフィック社

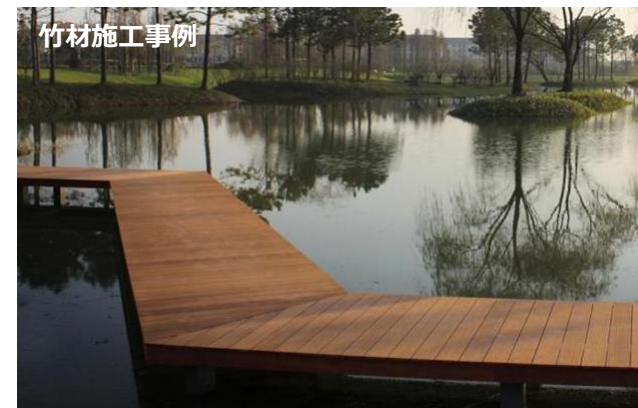
4-3. 化成品セグメント 方策（海外）

AAP社

- 中国3大プロジェクトの推進
 - ・ アイカ広東社の移転（BCP対策、生産能力向上）
 - ・ アイカ福建社の竹材用フェノール樹脂工場の新規建設
 - ・ アイカ南京社のフェノール樹脂工場建設

- アイカドンナイ社での生産設備投資
 - ・ 産業用向けフェノール樹脂の生産を新規開始予定

- アイカアドテック社のシナジー拡大
 - ・ オセアニア、インド、パキスタン、トルコなどでの拡販
 - ・ AAP社各拠点と日本でのシナジーによる拡販
 - ・ アイカアドテック社売上計画 49億円(前年比 +80%)



©dasso Group



アイカアドテック社のホットメルト製品

アジアのフェノール樹脂需要、グローバルなホットメルト需要の取り込み
AAP社 通期売上計画 : 700億円(前年比 +8.8%、前々年比 +66.6%)

※AAP社 : アイカ・アジア・パシフィック社

4-4. 化成品セグメント 方策（国内）

接着剤

- 新組織体制を活かした新規顧客開拓の取り組み
- 接着剤用、摩擦材用、砥石用途フェノール樹脂の実績拡大（DICより譲受）
- 市場への売価転嫁

接着剤(国内) 通期売上計画 : 140.0億円(前年比 +5.5%、前々年比 +21.4%)

建設樹脂

- 透湿外断熱システム「パッシブウォール」の拡販
- 高機能塗床材「AHシリーズ」の早期浸透促進
- 建築改修市場での拡販強化
- 市場への売価転嫁



建設樹脂(国内) 通期売上計画 : 94.0億円(前年比 +3.0%、前々年比 +9.7%)

4-5. 化成品セグメント 方策（機能材料）

機能材料（国内）

- 3次元加飾フィルムの実績化
- 5G関連商材、
折り畳み式電子端末関連商材の拡販



ボンネットへの加飾成形品



折り畳み式電子端末

EMC社

- 大園工場のシナジー創出、UVコーティング事業拡大
- TPU(熱可塑性ウレタン樹脂)ライン増設
- 市場への売価転嫁



UV硬化型コーティング剤 使用例（ラベル用）

機能材料 通期売上計画：230億円（前年比+6.0%、前々年比+36.8%）

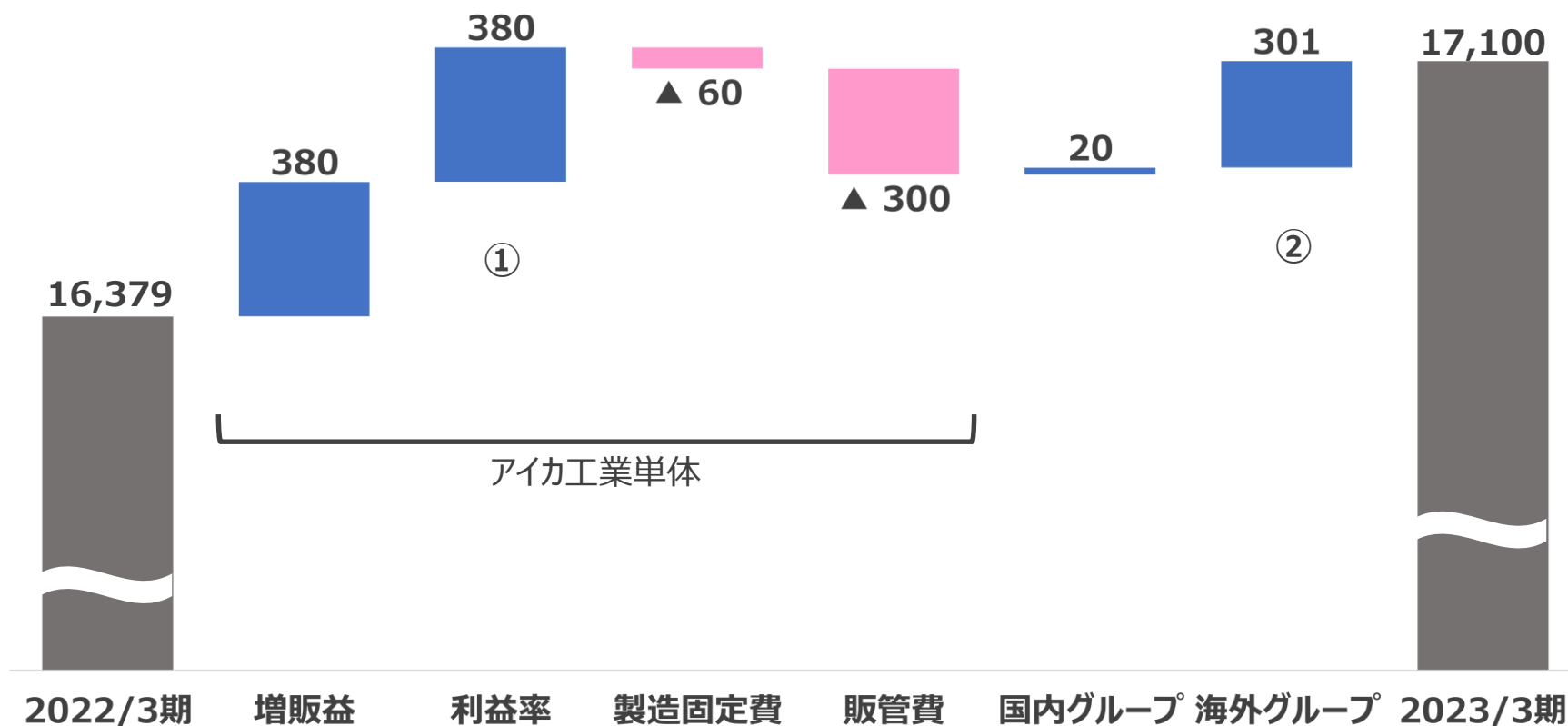
※EMC社：エバモア・ケミカル・インダストリー社

4-6. 建装建材セグメント 商品群別売上計画

[億円]

	2022/3期 (実績)		2023/3期 (計画)			
	上半期	通期	上半期	伸率	通期	伸率
メラミン化粧板	131.2	289.3	141.4	7.8%	316.0	9.2%
ボード フィルム等	54.0	114.5	54.7	1.3%	117.0	2.1%
セラール	95.5	209.1	96.5	1.0%	215.0	2.8%
不燃建材	36.9	79.0	37.0	0.2%	80.0	1.2%
カウンター ポストフォーム	83.9	182.1	86.8	3.4%	190.0	4.3%
建具 インテリア建材	21.8	47.5	19.0	▲13.0%	42.0	▲11.7%
合計	423.4	921.9	435.0	2.7%	960.0	4.1%

4-7. 建装建材セグメント 営業利益計画



① 利益率
 原材料影響 ▲300
 価格転嫁等 +500

② 海外G
 ウィルソナート・タイ社 +150
 アイカチャイナ +150

※ 配賦不能営業費用控除前営業利益

※ アイカチャイナ：ウィルソナート上海社+ソイス社

4-8. 建装建材セグメント 方策（国内）

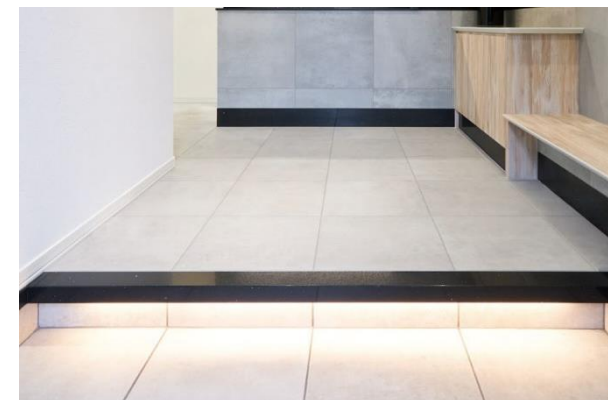
AS商品の拡販



ウイルテクトPlus



抗ウイルス建材 ウイルテクト

高級人造石を使用した玄関部材
フィオレストーン

- 抗ウイルス建材「ウイルテクト」の拡充
 - ・ 抗ウイルス、抗菌性能に加え消臭性能も付加した「ウイルテクトPlus」
 - ・ ウイルテクト売上計画：約10.0億円（前年比+21%）
- ストーン事業製品（人造石+人工大理石）の拡販
 - ・ 多用途展開
 - ・ ストーン事業売上計画：65.5億円（前年比+9%）

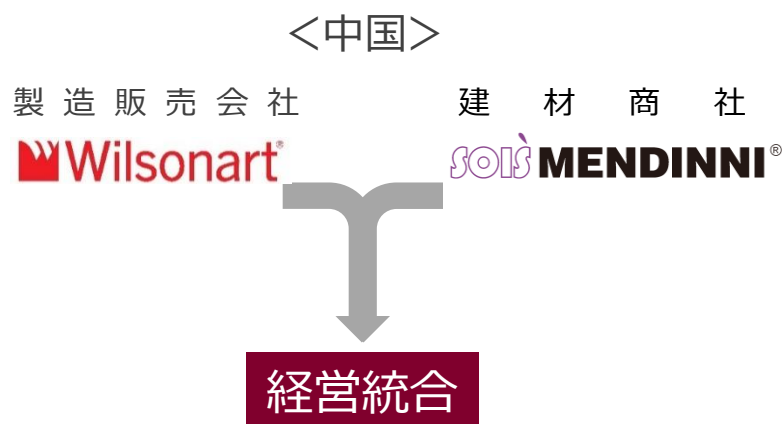
スペック活動、用途開拓、データベースマーケティング

建装建材国内 通期売上計画：770.0億円(前年比 +2.6%、前々年比 +9.6%)

4-9. 建装建材セグメント 方策 (海外)

PMIの実行

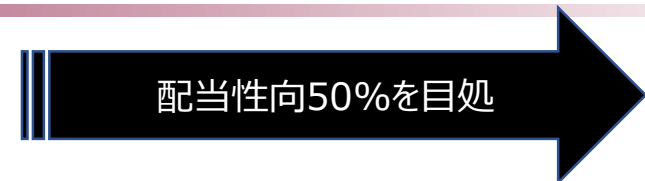
- ウィルソナート社の株式追加取得(100%子会社化)でグループ経営の迅速化
- ジャパンテクノロジーの海外グループ会社への展開加速
 - ✓ 中国・タイ・ベトナム・インドネシア・インドの各生産拠点を活用した地産地消型ビジネスの推進
 - ✓ 生産体制増強・効率化 (中国・インドネシア・インド)
 - ✓ Wilsonartの販路を活用したアイカの高付加価値商品の投入・ブランド浸透
 - ✓ 不燃建材 (セラール) ビジネスの拡販強化 (中国・台湾)
- 経営統合・オフィス統合などによる経営効率化



1. 2022年3月期 実績概況
2. 2022年3月期 セグメント別実績
3. 2023年3月期 計画概況
4. 2023年3月期 セグメント別計画

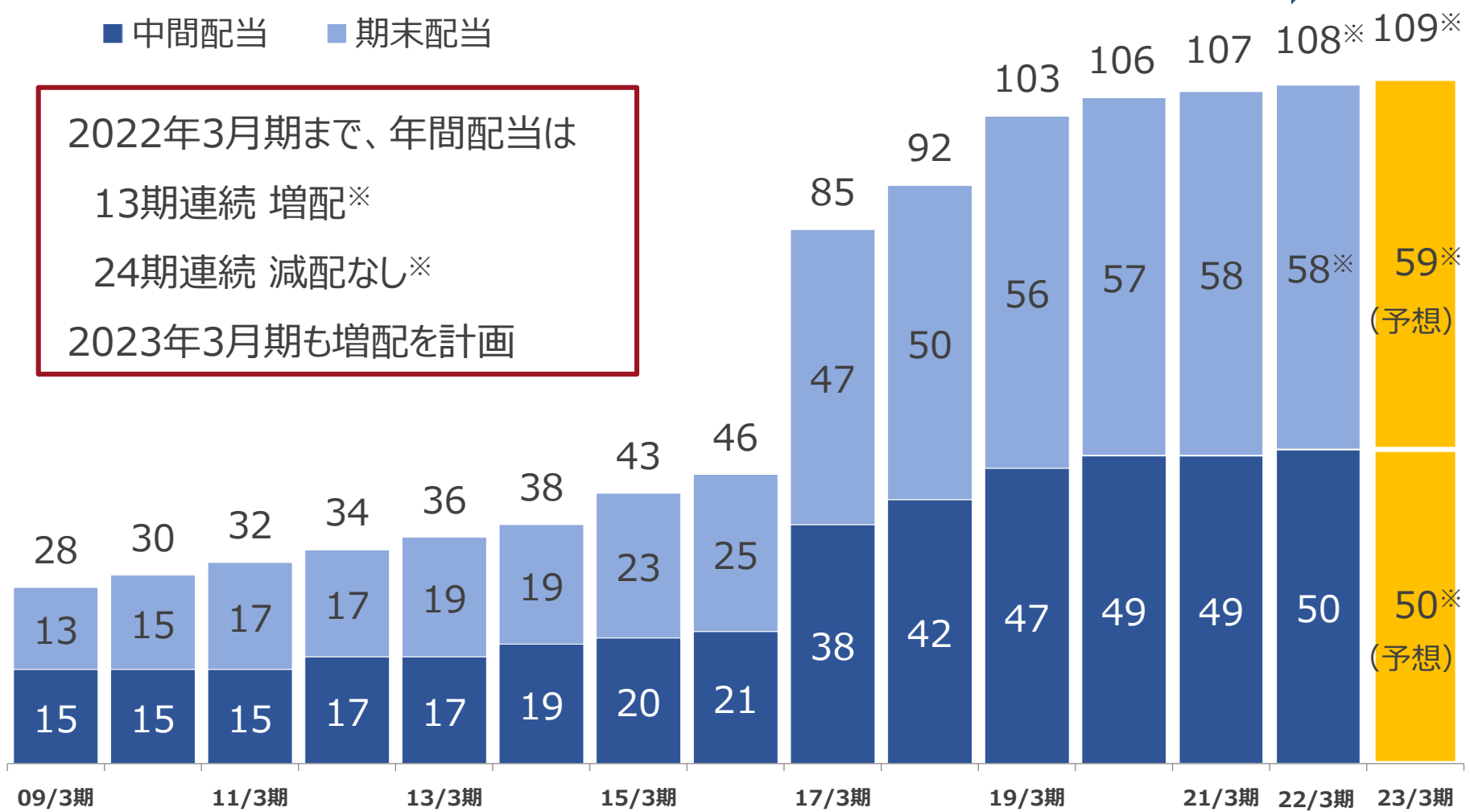
5. 配当について

参考資料) 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗



■ 中間配当 ■ 期末配当

2022年3月期まで、年間配当は
13期連続 増配※
24期連続 減配なし※
2023年3月期も増配を計画



※2022年3月期の配当は6月株主総会で決定。2023/3期の配当は現時点の予想値

目次

1. 2022年3月期 実績概況
2. 2022年3月期 セグメント別実績
3. 2023年3月期 計画概況
4. 2023年3月期 セグメント別計画
5. 配当について

参考資料) 中期経営計画 “Change & Grow 2400” の進捗

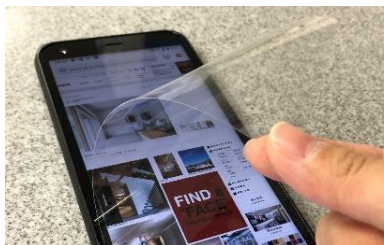
項目	前中計	1年目	2年目	3年目
	2021/3期 (実績)	2022/3期 (実績)	2023/3期 (計画)	2024/3期 (策定時計画)
R O E	8.1%	9.4%	9%以上	10%を目処
海外+機能材料 売上高 ^{※1}	812億円	1,147億円	1,250億円	1,150億円
A S 商品 ^{※2} 売上高 ^{※1}	155億円	169億円	180億円	210億円
経常利益	184億円	218億円	220億円	240億円
売上高	1,746億円	2,145億円	2,250億円	2,400億円

※1 連結消去前単純合算売上高

※2 AICA Solution 商品の略。様々な社会課題を解決する商品

項目	対象範囲	2024/3期目標	2022/3期実績
(1)経済価値の提供	アイカグループ	売上高：2,400億円	売上高：2,145億円
		経常利益：240億円	経常利益：218億円
		ROE：10%を目処	ROE：9.4%
		配当性向：50%を目処	配当性向：53.8%
(2)商品を通じた社会課題解決	アイカ工業	AS商品の売上高：210億円以上	AS商品の売上高：169億円
	アイカグループ	SDGs貢献商品の定義確立、目標設定	アイカ工業単体のSDGs貢献商品の定義を確立
(3)人材育成・組織開発	アイカグループ	教育・研修費用額および1人当たり研修時間のグループ全社における把握、向上	調査用フォーマットを各社へ配布、集計依頼
		部門別、階層別スキルリストの作成・運用	アイカ工業における部門別・階層別スキルリスト案の完成 グループ各社では、重要ポジションのサクセッションプラン策定を継続
		従業員満足度調査のグループ全社での実施、活用	従業員満足度調査のグループ共通設問案が完成
(4)DX推進	アイカ工業	自動化・省人化に資する設備投資額、 情報化投資額 3年累計8億円以上	78百万円

項目	対象範囲	2024/3期目標	2022/3期実績
(5)気候変動対応	アイカグループ	売上高原単位温室効果ガス排出量 10%削減 (2020年度比)	2020年度比11.7%削減 (見込み)
		売上高原単位産業廃棄物排出量 10%削減 (2020年度比)	2020年度比6.7%削減 (見込み)
		ハイリスクエリアにおける売上高原単位水使用量 6%削減 (2020年度比)	2020年度比17%削減 (見込み)
		温室効果ガス排出量(スコープ1+2総量)2050年実質排出ゼロを目指したシミュレーションの実施、施策立案 スコープ3算定方法確立、削減に向けた施策立案	3月よりTCFD提言に基づく気候変動シナリオ分析を開始 国内グループ会社スコープ3排出量の一部カテゴリーに対して第三者保証取得、国内算定基準確立
(6)ガバナンス強化	アイカグループ	BCP強化(異常気象、天災対策) 全連結生産拠点での1回以上/年のBCP訓練実施、 新規連結工場拠点のBCP策定	全拠点での訓練実施
	アイカ工業	グループガバナンスルール拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・行動規範浸透状況確認方法を厳格化 ・内部通報制度再構築、内部監査体制の充実 ・社内規定整備状況確認、不足規程整備支援
	アイカ工業	セキュリティ強化に資する情報化投資額 3年累計3億円以上	403百万円
(7)品質保証、労働安全	アイカグループ	顧客満足度調査に基づく品質改善 (毎年度)	顧客満足度調査実施完了、結果は取締役会へ報告済み。アイカ工業単体のロス金額は大幅減
		休業災害件数 前年以下 (毎年度)	国内：5件 (前年実績 6件) 海外：9件 (前年実績 13件)
	アイカ工業	部門別研修制度の確立と運用	品質教育計画をスケジュール通り実施



- **バイオマスUV硬化型ハードコート剤、バイオマスハードコートフィルムを開発**
 - ・ トウモロコシや大豆といった植物由来のバイオマス原料を一部使用
 - ・ バイオマス度30~40%を実現しており、地球環境にやさしい商品

■ 自動車外装専用の3次元加飾ハードコートフィルムを開発

- ・ 自動車製造工程で排出されるCO₂の約30%が塗装工程に起因
- ・ 塗装代替(= 3次元加飾フィルム)で自動車製造工程におけるCO₂排出量を削減



■ 植物由来のフェノール樹脂を使用したメラミン化粧板を開発

- ・ 植物由来のリグニンを有効活用
- ・ バイオマス度60%を実現。100%化を目指し、さらにサステナブルな建築素材へ

■ 環境認証「グリーンガード ゴールド」をメラミン化粧板とセラールで取得

- ・ 世界的な第三者安全科学機関であるULによる環境認証
- ・ 主に建材・家具から室内に放散されるVOC(揮発性有機化合物)の上限を定めている



Change
& Grow
2400



アイカ工業株式会社

本資料に掲載されているアイカ工業株式会社の現在の計画、見通し、戦略、確信等のうち、歴史的事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。

これらの情報は、現在入手可能な情報からアイカ工業株式会社の経営者の判断に基づいて作成されております。実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみにより全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

また、本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。